

2020年度の東都生協への意見・要望について

- 取り組み内容が良く分かり、おおむね賛成で応援したい気持ちにさせてくれます。
(世田谷区/60代)
- 供給高が伸び悩んでいる現状が心配です。今年は新型コロナウイルスの影響など計り知れない要素があるかと思いますが、利用のしやすさ、商品のラインアップ見直し、ペーパーレス化やコストダウンなどできるところからやってほしい。
(川崎市/50代)
- 1人利用で注文が少なく申し訳なく思っていました。全体的にも減っていたんですね。
(横浜市/60代)



2月度累計の組合員1人当たり平均の利用高は、5,427円となっており、前年と比較して▲84円となっています。利用の低下は、商品やサービスが組合員ニーズに合致していないこと、利用のしにくさなどに原因があると考えています。組合員の皆さんからは、商品案内が多すぎて選びにくい、スマ注などインターネット注文を使いやすく改善してほしい、少量規格の商品を扱ってほしいなどの意見をいただいています。これらの声を真摯に受け止め、年代に応じた商品の充実や利用のしやすさを向上させていきます。お気付きの点などありましたら、ぜひお知らせください。

- 組合員1人当たりの出資金額が26,476円だと知り、自分の出資金が少ないことに気付き、増額をしたいと思えます。
(三鷹市/70代)



加入後の積み立て増資は、生協を少しでも強く大きく、また利用しやすくしていくために、ご協力いただいています。もちろん加入後の積み立て増資は任意です。加入時に積み立て計画を選択できるほか、商品の注文時に1口200円で申し込むこともできます(注文番号621)。インターネット注文サイト、スマホ注文アプリ「スマ注」からもお申し込みいただけます。

- 日本はもちろん世界の異常気象を考えると、「食」が脅かされる心配も念頭に置くことが大切かと思えます。
(練馬区/70代)
- 遺伝子組換え表示の制度が2023年から変更され、ますます私たち消費者は食品選択が難しくなります。東都生協にはぜひ、分かりやすい表記を期待しています。安心な物を作ってくださいという農家さんを応援できる仕組みが広がるとうれしい。交流会も良かった。「知る」と気持ちが一歩進みます。
(横浜市/30代)



遺伝子組換え表示は制度変更に合わせて見直しが必要と考えています。どのような表示が分かりやすいか、責任を持って表示できるか、これから表示できるよう検討を進めます。

- 高齢になると買い物もままならないことを想定して昔から加入していました。今まさにその年齢になり、注文書の記入がづらくなりました。パソコンもよく見えず使いづらいです。高齢者向けに工夫してください。
(世田谷区/80代)
- 野菜でシーズン最終の物はアイコンなどで分かるようになると助かります。自動カートインを設定して安心していたら届かず、確認したら企画が終わっていたことがありました。
(横浜市/30代)

- スマ注の注文画面のどこかに配達日を表示してほしい。注文した後で不在にすることに気付くことがあります。また、注文画面がチラシごとに分かれていることに不便に感じます。いちいち「キャロット」「とーとらんど」などと見て回るのが面倒です。
(和光市/40代)



ますます高齢化が進むことが予測される中で、分かりやすい注文方法や商品の選びやすさ、見やすさを引き続き追求します。季節物や一定期間で終了する商品の最終企画表示については、より分かりやすい表示を検討します。複数のチラシ媒体があり、欲しい商品が探しにくい点については、ご迷惑をお掛けし申し訳ありません。注文画面のスペースには限りがありますが、さまざまな要望を踏まえて改善していきます。

- 「ひとこと」と思うことが時々あります。とても見やすくなった「東都生協からのご案内」の隅に「ひとこと欄」などどうでしょう。
(小平市/80代)
- 「東都生協からのご案内」について何が改善されたのですか？ 2007年に加入した80歳ですが、いろいろ扱いにくい一言。届くごとに不愉快を感じる。利用者の立場で考え、早く対処してください。
(杉並区/80代)
- 毎週の「東都生協からのご案内」が大きくなりました。以前の小さかった方が見やすかったような気がします。ペーパーレスの時代の流れに逆行しているように思うのですが、どうしてこのような大判になったのでしょうか。
(小金井市/60代)
- 新しい「東都生協からのご案内」やLINE、とても良いと思います。つつい買すぎてしまうのが困りますが、これからも応援します。いつも配達ありがとうございます。やっぱり東都生協の野菜はおいしい！
(新宿区/50代)



以前のお届け明細書には「もっと情報量を増やしてほしい」との声が寄せられていました。特に「登録商品のお届け情報や欠品などに関する情報を増やしてほしい」との要望が多数寄せられ、これらの声に応じて「東都生協からのご案内」はA3サイズの用紙へ変更し、ご利用に関わる情報量を増やしました。今回の変更に対して、組合員の皆さんからは評価する声とともに改善を強く望まれる声も寄せられています。お知らせする情報量を増やしたことによって、「かえって表示が分かりにくい」「請求額が分かりにくい」「訂正連絡が出しにくい」、などのご指摘をいただいております。こうした改善要望に応じていきます。まずは表示方法などの改善を行い、見やすさや分かりやすさへの要望に応えます。また、利用状況に応じて情報量が異なるため、用紙に空白ページが発生することがあります。この空白ページを活用し、「商品の返品・交換」や「連絡先」、「ひとこえ生協」などの情報を記載することを検討しています。

- 日本の食料自給率を上げたいですね。これからも若手の生産者の育成、応援をしていきたいと思っています。また、脱プラスチックへの対応など容器の改良、リサイクルなどにも取り組んでいただけたらと思っています。私自身も努力します。
(世田谷区/60代)



近年、気候変動が農作物に及ぼす影響は大きな問題となっています。私たちのくらしが環境にどのような影響を与えているのか、しっかりと考え、行動していくことが大切です。国産品を購入することは、日本の食料自給率を上げ、フード・マイレージ(食料の輸送量に輸送距離を掛け合わせた指標)を抑えることで環境負荷の軽減にもつながります。一人からでもできる、国産応援商品[※]の利用や、3R(リデュース・リユース・リサイクル)活動を一緒に広げ、進めていきましょう。

[※]東都生協で取り扱う国産の産直生鮮品をはじめ、国産原料を60%以上(水を除いた重量比)使用した加工食品

- 5人に1人が糖尿病予備軍といわれていますが、東都生協には糖尿病食がありません。糖尿病の人に向けたカテゴリーを作ってください。
(荒川区/80代)



現状の「東都生協の商品の考え方・基準」で取り扱える商品は少なく(化学調味料不使用、国産原料使用などの条件)、独自開発するにはロット(製品の生産・供給の最小単位)の関係で難しいのが現状です。しかし、食事制限をされている方にとっては切実な問題として受け止めています。カテゴリーの配置も含め、糖尿病に対応した商品への要望を踏まえ、組合員の皆さんのご意見も聞きながら検討を進めていきます。

- 梅雨や夏場に果物を注文した時に傷んでいたことが数回あったので、生鮮食品の状態チェックを強化していただきたい。
(杉並区/20代)
- 生産者のメッセージが入っていると、生産者のご苦労も伺えてとてもよい。ただ、生育不良の場合は欠品にしてほしい。
(川崎市/50代)



ご迷惑をお掛けし、申し訳ありません。梅雨時の高湿度などは青果物の品質に大きく影響します。天候の影響を予測しながら検品を強化します。

- 「ふっかちゃんの小松菜」を登録利用していません。毎週購入する代わりにお求め安くなる登録商品は、良いシステムだと思います。他の商品にも取り入れてほしい。
(練馬区/30代)



登録利用、ありがとうございます。「ふっかちゃんの小松菜」以外にも登録商品「まいとどちゃん(とどちゃんズ)」では多くの商品を用意しています。青果は「グリーン・サポート」「フルーツ・サポート」「ミニトマトきゅうりセット」があります。今後も商品を増やしていきます。まいとどちゃん(とどちゃんズ)の品ぞろえや価格については供給担当者かコールセンターにお問い合わせください。

